

1 教育・保育の量の見込み及び確保方策等

(1) 教育にかかる施設型給付

【提供対象者】

1号認定の子ども（満3歳以上の教育のみ（保育の必要性なし）の就学前の子ども）

※2号認定を受けた子どもで、幼稚園の利用希望が強い場合は、1号認定へ変更可

【実績】

(単位：人)

3歳～就学前児童		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	人口	537	492	469	461	442
	利用人数	331	284	242	237	251
	利用率	57.9%	57.7%	51.6%	51.4%	56.8%

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果から算出しています。過去の実績を下回る見込みとなっています。

(単位：人)

3歳～就学前児童（1号・2号）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	人口推計	365	361	357	345	327
	量の見込み	208	205	202	196	185
	想定利用率	56.9%	56.7%	56.5%	56.8%	56.5%

※量の見込みの数値には、教育を必要とする2号認定子どもの見込みを含みます。

【事業内容】

満3歳～小学校就学前までの子どもを預かり、年齢にふさわしい適切な環境の中で教育を提供します。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、平成27年度末をもって町立川島幼稚園は閉園となりますので、私立とねがわ幼稚園の定員280人とします。

(単位：人)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
町全体	量の見込み	208	205	202	196	185	
	確保方策	幼稚園・認定こども園	280	280	280	280	280
		町外施設（町内在住）	17	17	17	17	17
	過不足	89	92	95	101	112	

※確保方策の町外施設は、H25年度の実績値です。

(2) 保育にかかる施設型給付

【提供対象者】

2号認定の子ども（満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども）

3号認定の子ども（満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども）

【実績】

(単位：人)

0歳児		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	人口	133	117	118	121	116
	利用人数	9	7	12	14	16
	利用率	6.8%	6.0%	10.2%	11.6%	13.8%

※0歳児の利用人数については、年度中の変動が大きいため、各年度ピーク時の人数としています。

(単位：人)

1・2歳児		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	人口	307	303	270	248	239
	利用人数	46	52	55	56	60
	利用率	15.0%	17.2%	20.4%	22.6%	25.1%

(単位：人)

3歳～就学前児童		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	人口	537	492	469	461	442
	利用人数	108	99	115	116	106
	利用率	20.1%	20.1%	24.5%	25.2%	24.0%

【量の見込みについて】

二一ズ調査の結果から算出しています。過去の実績値を大きく上回っています。

(単位：人)

0歳児（3号）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	人口推計	106	98	96	92	88
	量の見込み	31	29	28	27	26
	想定利用率	29.2%	29.6%	29.2%	29.3%	29.5%

※二一ズ調査の結果による、育児休業制度の取得状況の実態を含みます。

(単位：人)

1・2歳児（3号）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	人口推計	233	209	199	193	197
	量の見込み	133	127	122	116	113
	想定利用率	57.1%	60.8%	61.3%	60.1%	57.4%

(単位：人)

3歳～就学前児童（2号）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	人口推計	365	361	357	345	327
	量の見込み	140	138	137	132	125
	想定利用率	38.4%	38.2%	38.4%	38.3%	38.2%

【事業内容】

保護者の就労等により、日中の保育が必要で、2号・3号認定を受けた子どもを預かり、保育を行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、町立保育園2園（さくら・けやき保育園）の定員とします。
また、今後の実利用を踏まえ、川島幼稚園閉園後の施設整備を検討します。

(単位：人)

		H27年度			H28年度			
		2号	3号		2号	3号		
			0歳	1・2歳		0歳	1・2歳	
町 全 体	量の見込み	140	31	133	138	29	127	
	確保 方策	保育園・認定こども園	165	12	68	165	16	83
		地域型保育事業	0	0	0	0	0	0
		町外施設	3	0	0	3	0	0
	過不足	28	△19	△65	30	△13	△44	
		H29年度			H30年度			
		2号	3号		2号	3号		
			0歳	1・2歳		0歳	1・2歳	
町 全 体	量の見込み	137	28	122	132	27	116	
	確保 方策	保育園・認定こども園	165	20	98	165	24	113
		地域型保育事業	0	0	0	0	0	0
		町外施設	3	0	0	3	0	0
	過不足	31	△8	△24	36	△3	△3	
		H31年度						
		2号	3号					
			0歳	1・2歳				
町 全 体	量の見込み	125	26	113				
	確保 方策	保育園・認定こども園	165	26	113			
		地域型保育事業	0	0	0			
		町外施設	3	0	0			
	過不足	43	0	0				

※量の見込みの数値には、教育を必要とする2号認定子どもの見込みを除きます。

※確保方策の町外施設は、H25年度の実績値です。

2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策等

ニーズ調査対象外

(1) 利用者支援事業（新規事業）

【提供対象者】

就学前児童及び就学児童とその保護者

【量の見込みについて】

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、今後、多様化していく子育てに関するニーズや悩み・不安に対し、利用者の相談の場となり、必要な事業や施設の利用調整やあっせんを行う窓口が必要です。利用者の就労時間や、交通事情を考慮し、川島町全体で2か所としました。

【事業内容】

保育園、幼稚園、認定こども園や放課後児童クラブなどの地域子ども・子育て支援事業の中から、子どもや保護者が適切にサービスを選択し、円滑に利用できるよう、利用者からの相談に応じて、情報提供及び関係機関との連絡調整を行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、事業や施設の利用に関する問い合わせは、子育て支援課窓口で概ね対応していることから1か所とします。ニーズ調査の結果では、子育てに関する相談窓口がどこかわからないという回答が多くあったため、今後は、PR活動をし、利用者支援事業として展開していきます。

また、町立川島幼稚園閉園後の施設での利用者支援事業の実施も検討します。

(単位：か所)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	2	2	2	2	2
	確保方策	1	1	2	2	2
	過不足	△1	△1	0	0	0

(2) 地域子育て支援拠点事業

【提供対象者】

就学前児童とその保護者

【実績】

(単位：人日/年)

0歳～就学前児童		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
町全体	人口	440	420	388	369	355
	利用人数	1,906	1,865	2,540	2,810	2,560
	利用率	433.3%	440.0%	654.6%	761.5%	721.1%

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果が、H25 年度の実績の**2.55倍**となっているため、実績値をもとに算出しています。過去5年間でH24 年度の2,810人日/年がピーク時の実績であることを踏まえ、3,000人日/年としました。

また、人口推計が年間約5%ずつ減少しているため、量の見込みについても、5%ずつ減少させています。

(単位：人日/年)

0歳～就学前児童		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
町全体	量の見込み (修正前)	6,528	6,180	5,952	5,676	5,484
	量の見込み (修正後)	3,000	2,850	2,708	2,573	2,444

【事業内容】

地域子育て支援センターにおいて、親子の居場所の確保や子育ての支援を行うため、交流の場の提供、子育てに関する相談や援助、情報提供、講習等を行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、H24 年度に2,810人日/年利用していることから、約3,000人日/年の利用は、1か所の地域子育て支援センターで対応します。

(単位：人日/年)

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
町全体	量の見込み	3,000	2,850	2,708	2,573	2,444
	確保方策	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	過不足	0	150	292	427	556

※利用定員は設けておりません。

ニーズ調査対象外

(3) 妊婦健康診査

【提供対象者】

妊婦のかた

【実績】

(単位：人)

		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
町全体	利用人数	199	195	195	172	161

【量の見込みについて】

本項目は、ニーズ調査の対象外のため、人口推計の0歳児の人数をとします。

【事業内容】

妊婦に対して、母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票・助成券を交付し、妊婦健康診査費用の一部を助成します。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、現在、実施している妊婦健診事業で全ての利用者に対応可能です。

(単位：人)

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
町全体	量の見込み	106	98	96	92	88
	確保方策	106	98	96	92	88
	過不足	0	0	0	0	0

ニーズ調査対象外

(4) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

【提供対象者】

生後4か月までの乳児がいる家庭

【実績】

(単位：人)

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	利用人数	111	116	111	112	101

※実績値については、里帰り訪問を除いた人数です。

【量の見込みについて】

本項目は、ニーズ調査の対象外のため、人口推計の0歳児の人数とします。

【事業内容】

生後4か月までの乳児がいる家庭に、保健師や助産師が訪問し、乳児に関することなど、母親の相談に応じたり、母子保健サービスの情報提供などを行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、現在、実施している乳児家庭全戸訪問事業で全ての利用者に対応可能です。

(単位：人)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	106	98	96	92	88
	確保方策	106	98	96	92	88
	過不足	0	0	0	0	0

ニーズ調査対象外

(5) 養育支援訪問事業

【提供対象者】

養育支援が必要な子育て世帯

【実績】

川島町では実施しておりません。同内容については、母子保健事業にて対応しています。

【母子保健事業の実績について】

保健師が、母子保健事業にて訪問した実績となっています。

(単位：世帯)

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	訪問件数	37	47	53	52	60
	養育支援訪問事業相当の件数	6	7	4	3	4

【量の見込みについて】

本項目は、ニーズ調査対象外のため、過去の母子保健事業の実績をもとに算出しています。

過去の母子保健事業の訪問件数のうち、本項目の事業内容に相当する実績値はH22年度の7世帯がピークのため、年間10世帯とします。

【事業内容】

子育てについて不安や孤立感等を抱えている家庭や、虐待の恐れのある家庭など、養育支援が必要な家庭に保健師や保育士、家庭児童相談員等が訪問し、保護者の育児・家事等の養育能力を向上させるための支援や相談支援を行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、現在実施している保健センター事業の母子保健事業で対応します。

今後は、療育としての事業も実施できるよう、子ども・子育て会議において、実態等を把握しながら、検討します。

(単位：人)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	10	10	10	10	10
	確保方策	10	10	10	10	10
	過不足	0	0	0	0	0

(6) 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）

【提供対象者】

0～5歳児

【実績】

川島町では実施しておりません。

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果から算出しています。

【事業内容】

ショートステイ（短期入所生活援助）事業は、保護者が疾病・疲労など、身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が一時的に困難となった場合等に、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において養育・保護を行う事業です。

トワイライトステイ（夜間養護等）事業は、就労等の理由により、平日の夜間又は休日に保護者が不在となり、養育が困難となった場合やその他緊急の場合において、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において保護し、生活指導や食事等の提供を行う事業です。

【量の見込み及び確保方策】

年間の利用見込みが極めて少ない数字のため、町内整備については、今後の利用希望等により検討します。なお、近隣市町で実施している本事業は、現在、その市町に住民票の登録があるかたが対象です。

そのため、近隣市町で実施している事業の委託契約等について、H31年度の確保を目指し、検討します。
(単位：人日/年)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	7	7	7	7	6
	確保方策	0	0	0	0	6
	過不足	△7	△7	△7	△7	0

(7) ファミリー・サポート・センター事業

【提供対象者】

子育て家庭

【実績】

川島町ではH26年度より実施しております。

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果から算出しています。

【事業内容】

児童の送迎支援や預かり等を受けることを希望する親（依頼会員）と、支援を行うことを希望する町民（提供会員）との、相互援助活動の連絡・調整を行います。

【量の見込み及び確保方策】

現在の提供会員で、対応可能です。

今後、さらに提供・依頼会員を増やすため、事業のPR活動をしていきます。

(単位：人日/年)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	93	87	81	77	75
	確保方策	93	87	81	77	75
	過不足	0	0	0	0	0

(8) 一時預かり事業

【提供対象者】

就学前児童（幼稚園在園児とそれ以外の2区分）とその保護者

【実績】

(単位：人日/年)

3歳～就学前児童		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
町全体	私立とねがわ幼稚園	5,918	3,803	2,697	3,657	3,804
	町立川島幼稚園	-	-	-	239	314
	さくら保育園内	505	513	613	542	704

※町立川島幼稚園については、H24 年度から実施しています。

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果が、H25 年度の実績の**3.85倍**となっているため、H25 年度の実績値をもとに算出しています。

「幼稚園在園児」については、私立とねがわ幼稚園の実績が3,804人日/年であり、町立川島幼稚園の実績が314人日/年であることを踏まえ、**4,200人日/年**としました。

「それ以外」については、さくら保育園内一時保育の実績が704人日/年であることから、**1,000人日/年**としました。

また、人口推計が年間約5%ずつ減少しているため、量の見込みについても、5%ずつ減少させています。

(単位：人日/年)

3歳～就学前児童			H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
町全体	量の見込み (修正前)	幼稚園在園児	14,658	14,498	14,337	13,855	13,132
		それ以外	3,540	3,407	3,320	3,187	3,052
	量の見込み (修正後)	幼稚園在園児	4,200	3,990	3,791	3,602	3,422
		それ以外	1,000	950	903	858	815

【事業内容】

家庭において一時的に保育を受けることが困難となった乳幼児を、保育園等の児童関係施設で、一時的に預かります。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、私立とねがわ幼稚園は在園児の利用のため、対応可能です。保育園内一時保育についても、現在、定員に余裕があることから対応可能です。

(単位：人日/年)

3歳～就学前児童			H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
町全体	量の見込み	幼稚園在園児	4,200	3,990	3,791	3,602	3,422
		それ以外	1,000	950	903	858	815
	確保方策		5,200	5,200	5,200	5,200	5,200
	過不足		0	260	506	740	962

(9) 時間外保育事業（延長保育事業）

【提供対象者】

保育園を利用している就学前児童とその保護者

【実績】

(単位：人/年)

0歳～就学前児		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	人口	977	912	857	830	797
	利用人数	-	-	-	21	23
	利用率	0%	0%	0%	2.5%	2.9%

※平成24年度から実施しています。

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果が、H25年度の実績の**3.3倍**となっているため、H25年度の実績値をもとに算出しています。

H25年度は、保育園在園児の約14%の実績があるため、H27年度保育園の量の見込み273人（0歳児は事業対象外のため除く）の14%の、**39人**とします。

その後は、人口推計の減少に伴い、各年度5%ずつ減少させています。

(単位：人/年)

0歳～就学前児		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	人口推計	704	682	666	640	612
	量の見込み（修正前）	76	74	72	69	66
	量の見込み（修正後）	39	37	35	33	31

【事業内容】

就労時間の延長などにより通常の保育時間を超える保育が必要な場合、保育園での保育時間を延長して乳幼児の預かりを行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、保育園在園児の利用のため、対応可能です。

(単位：人/年)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	39	37	35	33	31
	確保方策	39	37	35	33	31
	過不足	0	0	0	0	0

(10) 病児・病後児保育事業

【提供対象者】

病気のある児童
回復期であるが、集団保育が困難と認められる児童
※保育園内で実施している場合、在園児以外も受け入れます。

【実績】

川島町では実施しておりません。

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果から算出していますが、実績値がなく比較ができません。近隣市町村の状況から、人口推計の約3%を見込んで、設定しています。

そこで、川島町でも同様に、H27年度の人口推計（0歳～11歳児）の1,704人の3%の、**51人日/年**とします。

その後は、人口推計の減少に伴い、各年度5%ずつ減少させています。

(単位：人日/年)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み（修正前）	2,484	2,407	2,350	2,259	2,160
	量の見込み（修正後）	51	49	47	45	43

【事業内容】

児童が急な病気又は病気の回復期にあつて、集団保育が困難な期間、保育園や病院等に付設された専用スペースにおいて看護師等が保育及び看護ケアを行います。

【量の見込み及び確保方策】

確保方策については、近隣市町村で実施している施設・事業の広域利用とすることで、対応します。

また、町外施設・事業を利用した際の費用免除等のソフト面での事業展開を、子ども・子育て会議等で研究し、実施検討します。

なお、H26年度により実施している緊急サポート事業での対応も検討します。

町内での整備については、今後、実利用等を踏まえ、検討します。

(単位：人日/年)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	51	49	47	45	43
	確保方策	51	49	47	45	43
	過不足	0	0	0	0	0

(11) 放課後児童クラブ（学童保育）

【提供対象者】

就学児童

【実績】

(単位：人)

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
町全体	低学年児童数（1～3年生）	564	579	571	521	477
	高学年児童数（4～6年生）	601	576	541	550	569
	低学年利用人数（1～3年生）	66	60	58	72	86
	高学年利用人数（4～6年生）	21	18	22	18	20
	合計利用人数	87	78	80	90	106

【量の見込みについて】

ニーズ調査の結果から算出しています。過去の実績値を大きく上回っています。

【事業内容】

親が共働きである世帯など、放課後の時間帯に保護者のいない世帯の小学生を対象に、放課後児童クラブで、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図ります。

【量の見込み及び確保方策】

全ての子どもの受け入れを前提としたうえで、各放課後児童クラブで対応可能です。

しかし、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、各放課後児童クラブにおおむね40人以下という利用定員が適用されるため、今後の実利用を踏まえ、分室等での対応を検討します。

(単位：人)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町全体	量の見込み	261	247	225	215	209
	確保方策	261	247	225	215	209
	過不足	0	0	0	0	0

※現在、町内の各放課後児童クラブは定員設定をしておりませんが、H27年度から一つの放課後児童クラブに対し、おおむね40人以下の定員設定が適応されます（5年の経過措置有り）。